

鳥栖北小の教科「日本語」の取り組み

鳥栖市では、平成 27 年度から、全小中学校で教科「日本語」を実施しています。

小中一貫教育の大きな柱として、「豊かな日本語を身に付け、鳥栖市を愛し、次世代を担う子ども」の育成をめざして、言語や文化、礼儀作法について「楽しみ」「親しみ」「味わう」学習を展開しています。鳥栖北小学校でも日頃から、子供たちが日本の言語や文化を学び、日本語の持つ美しさや、日本人が持つ感性や情緒に気づき、その中で文化や伝統を継承していこうという態度を身につけられるような授業展開を意識しながら取り組んでいます。

5 月 9 日金曜日の 1、2 時間目に行った授業参観では、多くの学級で教科「日本語」の授業に取り組み、子供たちが日本語について一生懸命に考える姿が多く見られました。4 年生の「相手に合わせた話し方をしよう」では、子供たちに日頃の話し方を振り返らせ、相手に合わせて話し方を変えていることに気づかせた後、場面や相手に合わせた適切な話し方を役割演技で実感させる授業を実践しました。また 5 年生の「故事成語」では、その成り立ちについて学習した後、身の回りの出来事で故事成語の真似をしてオリジナル例文を作って、発表し合う活動を行いました。どちらの授業でも、日本語の面白さに向き合う時間がたくさんあって、子供たちも楽しそうに授業に取り組んでいました。

今年度も様々な教科「日本語」の授業を実践していこうと思います。



4 年生

「相手に合わせた話し方をしよう」

5 年生

「故事成語」

どちらの学習も身の回りの出来事と結びつけて授業を展開しているので、子供たちも積極的に取り組むことができました。

